

インマヌエル

クリスマス礼拝

2016/12/25

マタイによる福音書 1章18～25節

イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は**自分の民を罪から救う**からである。」

このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名は**インマヌエル**と呼ばれる。」この名は、「**神は我々と共におられる**」という意味である。

ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおりに、妻を迎え入れ、男の子が生まれるまでマリアと関係することはなかった。そして、その子をイエスと名付けた。

神に見捨てられたと言われていた 人たちの友となられた

○重い病気をわずらった人たち

○重い皮膚病・悪霊につかわれている(と言われた)

○「罪人」と呼ばれた人たち

○徴税人・遊女

○未亡人

○イエス様の母マリアも未亡人だった？

○死刑囚

○イエス様と共に十字架にかけられた強盗犯

私たちが神と共にいられるために

○神と共にいてもらう資格は誰にもなかった

○「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっています」ローマ3:23

○私たちの代わりに罪の裁きを受け、私たちが神と共にいられるようにして下さった

○「今や、神は御子の肉の体において、その死によってあなたがたと和解し、御自身の前に聖なる者、きずのない者、とがめるところのない者としてくださいました。」コロサイ1:22

水野源三さん

- 子どものころの病気が原因で、首から下が全く動かず、話すこともできなかった
- 12才で聖書に出会い、クリスチャンになる
- 瞬き(まばたき)を使って言葉を選び、たくさんの詩を残した
 - 「瞬きの詩人」と呼ばれた



～母が共に～

我ひとり悩むのでなく

母が共に

我ひとり聞くのでなく

母が共に

我ひとり信じるのでなく

母が共に

我ひとり祈るのでなく

母が共に

我ひとり喜ぶのでなく

母が共に

～主よなぜですか～

最愛のお母さんを亡くされた時

主よなぜですか

父にっづいて

母までも

み国へ召されたのですか

涙があふれて

主よ 主よと

ただ呼ぶだけで

つぎの言葉が

出て来ません

主よあなたも

私と一緒に

泣いてくださいなのですか

～泣かないでください～

泣かないでください

母をうしなつた私のために

泣かないでください

もう泣かないでください

心の中は

不思議なくらいに

静かなのです

キリストが

私と共に

おられるからいびきしよしが

イエス・キリストの約束

「わたしは世の終わりまで、
いつもあなたがたと共にいる。」

マタイ28:20

あなたは一人じゃない!

メリー・クリスマス